

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所の降下ばいじんの

自主管理目標値超過について（令和3年7月度）

1. 概要

市が測定している降下ばいじんの測定結果について、5月、6月に続き、7月度の製鉄所影響値が、(株)神戸製鋼所加古川製鉄所の自主管理目標値である、3.0 t/km²/月を超過したことが判明した。

降下ばいじんの分析結果（令和3年7月）

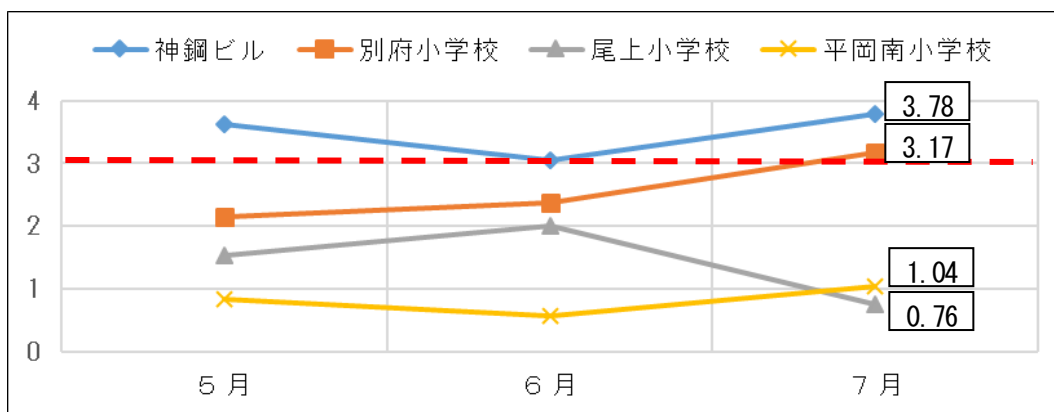
（単位：t/km²/月）

測定地点	不溶性物質 (a)	不溶性物質バックグラウンド平均 (b)	製鉄所影響値(c) (c) = (a) - (b)
加古川神鋼ビル	4.67	0.89	3.78
別府小学校	4.06	0.89	3.17
尾上小学校	1.65	0.89	0.76

製鉄所影響値の推移（令和3年5～7月）

（単位：t/km²/月）

測定地点	5月	6月	7月
加古川神鋼ビル	3.62	3.06	3.78
別府小学校	2.15	2.38	3.17
尾上小学校	1.54	2.01	0.76



2. 背景

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所は、県、市、地元と締結した環境保全協定において、周辺環境への粉じん飛散抑制のため、自主管理目標の基準として、市が測定をしている3カ所（加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校）の製鉄所影響値（自然的要因等のバックグラウンドとして市内5箇所を平均値を差し引いた数値）を3.0 t/km²/月以下となるように管理基準を設けて管理を行っている。

3. 現在の対応状況

8月26日（木）に、(株)神戸製鋼所加古川製鉄所から、「降下ばいじん対策ワーキンググループ」を発足し、原因究明、設備検討、経路監視検討など、5つのチームによる活動を開始したと報告があった。

市としてもワーキンググループによる徹底した原因究明や対策等を講じる必要があると判断し、検討には一定の期間が必要となるため、市が求めていた8月中の報告は延期とし、12月中に結果を報告するよう指示している。

4. その他

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所は、市からの通知を受けて、同日中に尾上、別府町内会連合会会長及び東播磨漁業協同組合に説明するとともに、8月27日に記者発表及びホームページにて公表した。

以上